

婦中ニュースレター第3号

発行：富山市 令和2年12月5日

婦中地域

まちづくりと公共施設の

「これから」を考えるワークショップ

10月18日（日）に
開催しましたワーク
ショップについて
お知らせします！

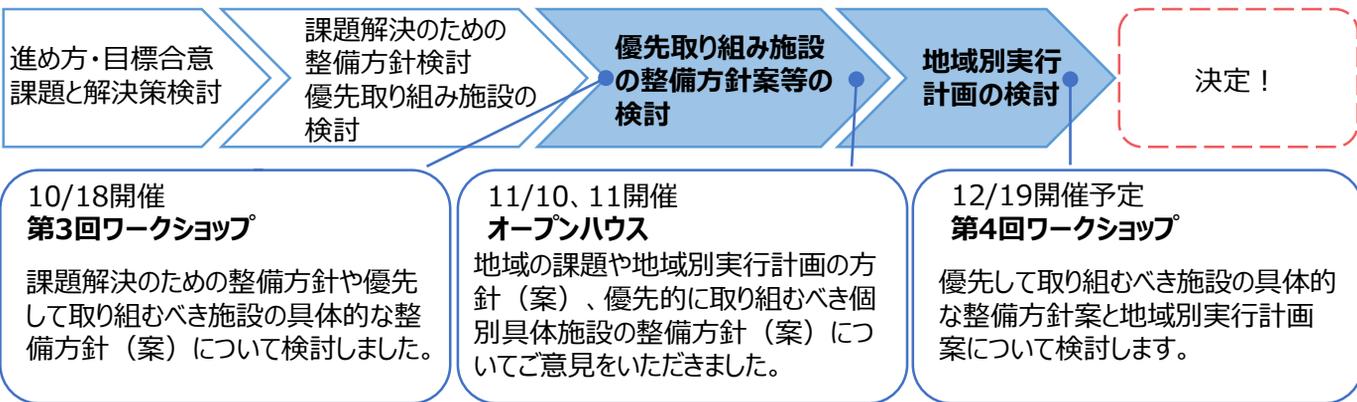
富山市では、今年度、婦中地域の公共施設のあり方について、地域にお住まいの皆様と富山市がともに考えるワークショップを開催しています。10月18日(日)に第3回ワークショップ、11月10日（火）・11日（水）にオープンハウスを開催しましたので、その内容をお知らせします。

また、ワークショップで話し合われている内容や地域別実行計画策定に向けてのご意見を募集しています。

検討の進め方

富山市は、このワークショップをはじめ、広く地域の皆様からいただいたご意見を反映させた、婦中地域における公共施設の用途別に将来の整備方針を定める「地域別実行計画」を策定します。

策定までは、下図のように段階的に検討を進めます。



オープンハウス（パネル展示型説明会）を開催しました！

婦中地域では、婦中ふれあい館と婦中ショッピングセンターパピの2会場にてオープンハウスを開催しました。

これまでのワークショップで検討されてきた地域の課題や地域別実行計画の方針（案）、優先的に取り組むべき個別具体施設の整備方針（案）について、パネルを用いて事務局職員が説明を行い、ご意見をいただきました。



日時：令和2年11月10日（火）10時～17時
（婦中ふれあい館）、
令和2年11月11日（水）15時～19時
（婦中ショッピングセンターパピ）

対象：婦中地域にお住まいの方

アンケート回答者数：62名

（婦中ふれあい館22名、婦中ショッピングセンターパピ40名）

アンケートの結果やご意見については、ホームページをご覧ください。

年齢

20代以下 5名 / 30代 3名 / 40代 12名 / 50代 6名 / 60代 16名 / 70代以上 13名 / 不明 7名

地区

速星 32名 / 鶴坂 7名 / 宮川 1名 / 婦中熊野 7名 / 古里 5名 / 音川 2名 / 神保 3名 / 不明 5名

性別

男性 21名 / 女性 35名 / 不明 6名

地域の将来的な公共施設の再編方針（案）

第3回ワークショップでは、第1・2回ワークショップで出された意見をもとに作成した、「地域の将来的な公共施設の再編方針（案）」について、ご意見をいただきました。

【表の見方】

施設区分	上段：対象となる施設を記載しています。
	中段：対象となる施設の「再編方針（案）」を記載しています。
	下段：第3回ワークショップにおいて「再編方針（案）」について出されたご意見を記載しています。
(1) 集会施設	<p>速星公民館、鶴坂公民館、朝日公民館（朝日地域農業再編センター）、宮川公民館（宮川地区コミュニティセンター）、婦中熊野公民館、古里公民館（婦中農村環境改善センター）、音川公民館（音川交流センター）、神保公民館（神保地区コミュニティセンター）、笹倉地区コミュニティセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮川公民館と婦中熊野公民館は、当面は現状のまま維持するが、今後、両地区の自治会の状況などを踏まえた上で集約化を検討する。 笹倉地区コミュニティセンターは、民間や地元への譲渡を図るが、譲渡できない場合は廃止する。（短期的取組み） <p>【宮川公民館と婦中熊野公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮川地区と婦中熊野地区を合わせると広範囲になり、それぞれの自治会で独自の行事を行っていることも踏まえると、互いに意見の違いがあるかもしれない。公民館の集約については両自治振興会でしっかりと話し合いをしながら進めた方がよい。 宮川公民館と婦中熊野公民館の集約は長年に渡って言われている話なので、進展させるためには宮川公民館の耐用年数を目途にして集約の期限を設定したり、短期的な取組として明記する必要があるのではないか。 <p>【笹倉地区コミュニティセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 笹倉地区コミュニティセンターは地区の会合に使われているだけでなく、他地区の人も使っており、なくなってしまったら不便になってしまうので残してほしい。 地区住民の笹倉地区コミュニティセンターを残したい意向が強いのなら、地元譲渡してもらって自治会館にするなど、地区が残す努力をする必要があるだろう。現状でも地区で管理している状況なので、問題はないと思う。 地元へ譲渡するならば、地元負担を減らすために施設の耐震化や設備の改修をした上で行ってほしい。 他地区の住民も利用しているので、廃止や地元譲渡の際には、笹倉地区住民だけでなく他地区の住民の意向も聞いてほしい。
	(2) 文化施設
(3) 図書館	<p>婦中図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> 婦中図書館は地域内に唯一の図書館であることから機能は維持とするが、周辺施設の再編検討とあわせ、移転・複合化の可能性についても検討する。（短期的取組み） <p>（P.4以降の「優先的に取り組むべき個別具体施設の整備方針（案）」に記載あり）</p>
(4) 博物館等	<p>安田城跡ガイダンス施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 安田城跡ガイダンス施設は、機能は維持とするが、周辺施設の複合化・多機能化とあわせ、現地にて存続が良いか、他の施設との統合・複合化が良いか、可能性を検討する。（短期的取組み） <p>（P.4以降の「優先的に取り組むべき個別具体施設の整備方針（案）」に記載あり）</p>
(5) スポーツ施設	<p>婦中体育館、婦中体育館音川分館、婦中スポーツラザプール、婦中武道館、婦中スポーツラザ、婦中スポーツラザグラウンド、婦中パークゴルフ場、ストリートスポーツパーク、婦中スポーツラザテニスコート</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の安全を確保しながら運営を継続していく。ただし、利用状況が著しく悪化した場合や、大規模改修が必要となった場合には、施設の廃止を検討する。 婦中体育館は一定の利用者数があること、地域の唯一の地域体育館であることから、安全性を確保しながら機能を維持していく。 婦中体育館音川分館、婦中スポーツラザプールは利用者数が少なく、地域内に代替施設があり、将来にわたって改善が見込まれないことが予想されるため廃止を検討する。（短期的取組み） <ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理が不十分で使いづらくなったために、利用率が下がった施設もあると思う。ニーズがなくて廃止するのは仕方ないが、ニーズがあるのに使われない施設があるのは問題なので、維持管理をしっかり行ってほしい。

<p>(5) スポーツ施設 (つづき)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 婦中体育館音川分館は耐震工事がされておらず、維持管理の人手も足りない。中山間地にあるため他地区からの利用も期待できないことも考えると、廃止もやむを得ないと思う。 ・ 温水プールや屋内プールが主流になっている中、スポーツプラザプールを改修したとしても利用は見込めないのではないかと。利用率と改修コストが見合わないならば、譲渡または廃止を検討してもよいと思う。 ・ スポーツプラザテニスコートは利用率が低いので、スポーツプラザプールとあわせて廃止を検討してはどうか。 ・ ストリートスポーツパークはまだ新しく、珍しい施設でもあるので、廃止という後ろ向きな見直しではなく、地域の人々が有効活用し、利用率を上げられる様な前向きな見直しをしてほしい。 ・ 速星中学校が婦中体育館を利用していることが現状の利用率の高さを支えていると思うが、駐車スペースを増やしたりトレーニング設備を新しくできると、一般の利用者が増えて更なる利用率向上につながるのではないかと。
<p>(6) 観光施設</p>	<p>ふるさと創生館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の安全を確保しながら運営を継続していく。ただし、利用状況が著しく悪化した場合や、大規模改修が必要となった場合には、施設の廃止を検討する。 <p>(意見なし)</p>
<p>(小) (7) 中学校</p>	<p>速星小学校、鶴坂小学校、朝日小学校、宮野小学校、古里小学校、音川小学校、神保小学校、速星中学校、城山中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒数の推移を見極めながら、今後のあり方について見直しを行う。 ・ 再編方針（案）には「児童生徒数の推移を見極めながら、今後のあり方について見直しを行う」とあるが、学校は地域の核となる場所なので、児童生徒数が減ったからと即見直しされては困る。「地域住民の意見を聞き、意見を反映させつつ」と加えてほしい。
<p>(8) 保育所・こども園 (保育園・幼稚園)</p>	<p>朝日保育所、古里保育所、音川保育所、速星幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の安全を確保しながら運営を継続していく。 ・ 大規模改修が必要となった場合には、入所希望児童が増加傾向の場合は定員数の見直し、園児数の減少が著しい状況となった場合はそのあり方を見直す。 ・ 子どもが少ない地区にある保育所を、幼児数が減少したからといって統合していったら、子育て世代は保育所の近い地区に移転してしまい、保育所がなくなった地区から若い人がいなくなってしまう。再編方針（案）に挙げられている内容は理解できるが、配置バランスを慎重に検討してほしい。
<p>(9) 児童館</p>	<p>婦中中央児童館、神保児童館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当面は維持するが、利用児童数が大幅に減少した場合又は大規模修繕が必要となった場合は、規模の縮小や他の公共施設の空きスペース等を活用した複合化を検討する。 <p>(意見なし)</p>
<p>(10) 障害福祉施設</p>	<p>富山市婦中生活介護事業所（健康福祉ゾーン内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の健康福祉拠点であることから機能を維持する。 ・ 利用者の利便性向上に向け、民間のノウハウを活用し、サービス水準の向上や運営の効率化を図るため、令和3年度からの民営化を推進する。 <p>(意見なし)</p>
<p>(11) 保健施設</p>	<p>西保健福祉センター（健康福祉ゾーン内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の健康福祉拠点であることから機能を維持する。周辺施設の検討状況をふまえ、複合化や多機能化の可能性を検討する。 <p>(P.4以降の「優先的に取り組むべき個別具体施設の整備方針（案）」に記載あり)</p>
<p>(12) 庁舎等</p>	<p>婦中行政サービスセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の建物が過大になっていること、老朽化も進んでいることから、行政サービスセンターを改修し、他機能を複合化する、または、行政サービスセンターを他施設の空きスペースなどに複合化する。 ・ 婦中行政サービスセンターに福祉関係の窓口機能を集めて利便性を高めたり、空きスペースを集約施設として活用できるとよい。 ・ 近隣地域の住民も利用している富山市の西側の拠点施設なので、長寿命化を図りできるだけ長く使ってほしい。

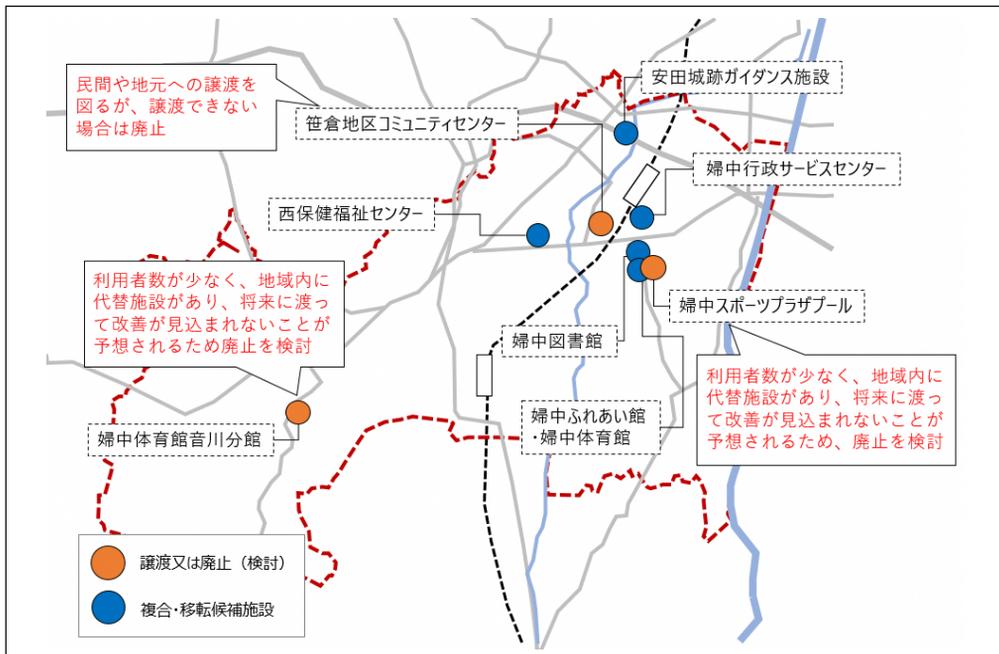
A案・B案に共通の第3回ワークショップでの主なご意見

- 西保健福祉センター、行政サービスセンター、ふれあい館は移転せずに長寿命化して使い続ける方が、移転に伴う大きなコストがかからないのでよいと思う。
- 安田城跡ガイダンス施設の展示品は単独で展示するのではなく、他の施設にある旧婦中町に関連する資料などと一緒に展示したり、埋蔵文化財センターに移転する方がよいと思う。あるいは、図書館に複合化してパネルなどで展示を行い、図書館で歴史などについても調べられるようにするとよいのではないか。
- 城跡以外にガイダンス施設を設置している事例は国内にそうはないだろう。安田城跡ガイダンス施設は規模を縮小したとしても今の場所にあった方がよい。
- 市が施設を集約化してコストを削減したいのは理解できるが、集約化した結果、施設がなくなった地区が不便になるのではないか。施設を集約化が行政サービスの低下につながる心配だ。
- 婦中地域ではすぐに人口が減少するわけではないので、行政サービスセンターを長寿命化して使い続け、10年後に状況の変化を見て今後の整備方針を検討することにしてはどうか。
- 施設を集約する場合、いずれの案でも建物の改修が必要になると思うが、改修中の代替施設についても検討してほしい。

その他の施設

優先的な取り組みが可能とされた施設のうち、A案・B案以外の施設の整備方針(案)

優先的に取り組むべき個別具体施設のうち、A案・B案以外の施設（笹倉地区コミュニティセンター、婦中体育館音川分館、婦中スポーツプラザプール）について、下图の整備方針（案）を提示し、ご意見をいただきました。



第3回ワークショップでの主なご意見(再掲)

- 地区住民の笹倉地区コミュニティセンターを残したい意向が強いのなら、地元譲渡してもらって自治会館にするなど、地区が残す努力をする必要があるだろう。現状でも地区で管理している状況なので、問題はないように思う。
- 婦中体育館音川分館は耐震工事がされておらず、維持管理の人手も足りない。中山間地にあるため他地区からの利用も期待できないことも考えると、廃止もやむを得ないと思う。
- 温水プールや屋内プールが主流になっている中、スポーツプラザプールを改修したとしても利用は見込めないのではないか。利用率と改修コストが見合わないのならば、譲渡または廃止を検討してもよいと思う。

ご意見募集

ワークショップに参加された方だけでなく、多くの婦中地域の皆様のご意見を今後の計画に反映させたいという考えのもと、ご意見を募集します。

- ワークショップで検討された内容について
- 婦中地域のまちづくりや公共施設について

下記の「お問い合わせ先」まで、メール・ファックス・郵便などにより、どうぞお気軽にお届けください。また、差し支えなければ、ご住所、お名前、年齢、性別、連絡先の記載をお願いします。

皆様のご意見を
お待ちしております！



お問い合わせ先

富山市企画管理部行政経営課
電話：076-443-2021
ファックス：076-443-2170
E-mail：gyousei-01@city.toyama.lg.jp

公共施設マネジメントに関する情報

富山市の公共施設マネジメントに関する情報はHPでご紹介しています。
<http://www.city.toyama.toyama.jp/kikakukanribu/gyoseikeieika/sougoukanrikeikaku/sougoukanrikeikaku.html>

